

教育事務所	所長・次長名	課長名	課別の主な分掌	職員数
会津教育事務所	所長 伊藤正男 次長室井邦夫 〃(側)木幡春夫	総務(側)室井邦夫 指導栗城永好 管理廣瀬成祐	○庶務文書・会計・各種振興法関係 ○小・中学校指導一般 ○小・中学校管理、教職員管理	24
南会津教育事務所	所長 大堀敬之 次長室井英男 〃(側)寺川智	総務(側)室井英男 指導(側)寺川智	○庶務文書・会計、各種振興法関係 ○小・中学校指導一般、小・中学校管理、教職員管理	12
相双教育事務所	所長 本多剛 次長斎藤満 〃(側)今野末治	総務(側)斎藤満 指導小泉泰次 管理荒薰	○庶務文書・会計、各種振興法関係 ○小・中学校指導一般 ○小・中学校管理、教職員管理	18
いわき教育事務所	所長 根本重信 次長菅野洋 〃(側)阿部郁夫	総務(側)菅野洋 指導磯上英男 管理中川雄司	○庶務文書・会計、各種振興法関係 ○小・中学校指導一般 ○小・中学校管理、教職員管理	20

(注) 職員数には、充て指導主事を含むが、財福島県文化センター・財福島県海浜青年の家・

公立学校共済組合福島支部への派遣職員及び派遣社会教育主事は含まない。

第4節 企画調整

1 第3次福島県長期総合教育計画策定の準備

第2次福島県長期総合教育計画は、昭和60年度をもって終了するが、近年の経済成長の鈍化、国民の生活や価値観の多様化など社会、経済の著しい変化に対応するため、昭和60年度から昭和70年度までの11年間を見通した、第3次福島県長期総合教育計画を策定することとなった。

このため、昭和57年度は、第2次福島県長期総合教育計画の総点検を実施し、昭和58年度は、この結果を踏まえ、策定の初年度としての作業を進めてきた。

その概要は、次のとおりである。

(1) 策定事務

① 幹事会

教育計画策定のため、幹事会を設置し、本県の教育の現状と課題について調査研究を行い、長期総合教育計画の原案を作成した。

〈第1回〉昭和58年4月27日 会場 県庁西庁舎12階 第2教室

第3次福島県長期総合教育計画策定基本方針について検討した。

〈第2回〉昭和58年5月9日 会場 県庁西庁舎9階 教育委員室

「本県教育の現状と課題」のまとめ方について検討した。

〈第3回〉昭和58年6月14日 会場 県庁西庁舎5階 第1会議室

計画の基本構想及び「本県教育の現状と課題」について検討した。

〈第4回〉昭和58年8月9日 会場 県庁西庁舎9階 教育委員室

計画の基本構想について検討した。

〈第5回〉昭和58年9月16日 会場 自治会館504号室

本県教育の現状と課題について検討するとともに、計画の基本構想（仮案）をまとめた。

〈第6回〉昭和58年11月22日 会場 県庁西庁舎9階 教育委員室

基本計画の策定に当たって、全体の構成及び表記等について検討した。

③ 専門委員会

教育計画策定のため、専門委員会を設置し、本県の教育の現状と課題について調査研究を行い、長期総合教育計画の原案を審議した。

〈第1回〉昭和58年4月26日 会場 県庁西庁舎9階 教育委員室

第3次福島県長期総合教育計画策定方針について検討した。

〈第2回〉昭和58年10月13日 会場 県庁西庁舎9階 教育委員室

計画の基本構想（仮案）と本県教育の現状と課題について検討した。

〈第3回〉昭和58年11月10日 会場 県庁西庁舎9階 教育委員室

計画の基本構想（仮案）を審議し、これをまとめた。

(2) 長期総合教育計画策定のための組織

① 第3次福島県長期総合教育計画策定専門委員会

委員長 教育次長

副委員長 総務課長、財務課長

専門委員 義務教育課長、高等学校教育課長、養護教育課長、社会教育課長、文化課長、保健体育課長、福利課長、文化施設整備室長、県北教育事務所長、教育センター所長、図書館長心得図書館次長

② 第3次福島県長期総合教育計画策定専門委員会幹事会

議長 総務課主幹

幹事 庁内各課（室）

府主幹兼課長補佐、主幹兼課長補佐、主幹、課長補佐、主任管理主事、主任指導主事、主任社会教育主事、主任主査、振興係長、管理主事（総務課）、主査（総務課）

教育センター